

# ロゼ

文化情報誌 ロゼ

Art information of Fuji city **Vol.21**  
AUTUMN  
Culture Magazine ROSE **1997**

秋号



vol.21



# ロゼ

富士市文化情報誌 ロゼ 1997年10月発行 (第21号)  
発行 (財)富士市文化振興財団 〒416 富士市蓼原1307番地の8 TEL (0545) 60-2510(代)  
企画・編集・制作 (財)富士市文化振興財団事業課広報係 アドスペース エービック株式会社





ドイツ最古の放送交響楽団

# ベルリン放送交響楽団

ドイツ・ロマン派の巨匠、J・ブラームスの没後100年にあたる今年、ロゼシアターの開館記念日の11月1日、大ホールにおいて、ベルリン放送交響楽団によるブラームスプログラムを開催いたします。この公演を前に同交響楽団と首席指揮者ラファエル・フリュベック・デ・ブルゴス氏のヨーロッパでの演奏活動の近況を、ドイツ・ケルン市在住の内藤間喜さんにレポートしていただきました。また公演を前にF・デ・ブルゴス氏と、日本を代表するヴァイオリニスト・前橋汀子さんに、ロゼ公演によせるメッセージをいただきました。

## ブラームス没後100年記念の今年、 十一月二日ロゼシアター大ホールに ブラームスが甦ります。

「ブラームスの音楽により、忘れがたい芸術の素晴らしさを、堪能していただけることを確信しております。」

ベルリン放送交響楽団（RSB）は、一九二三年十月二十九日に誕生、オイゲン・ヨッフム、セルジュー・チェリビダツケ、ハインツ・レグナー等も首席を務めたドイツ最古の放送響です。

RSBの一九九七〜九八年のシリーズは三十五の演目で六十回のコンサートを予定しています。このうちベルリンで四十回、十一月の五回目の日本ツアー（十都市）も大きな催しの一つです。RSBは放送オーケストラと交響楽団という二つの機能をもつため、ツアーのほか百四十回のドイツランド放送及び各種のCD録音の演奏がありライブ放送と録音は欧州各国に放送されています。一九九八〜九九年のシリーズはドイツ国内とカナダツアーが予定され、F・デ・ブルゴス氏は三十二回のコンサートで指揮をします。このうち十六回は日本ツアーとシユレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭、それにラインガウ音楽祭出演によりです。

今シーズンは、富士公演のプログラムであるブラームスを中心にモーツァルト、ベートーベン単独でプログラムを組んでいるほか、メンデルスゾーンの「パウルス」、ベルデイの「クアットロ・ベッチ・サクリ」、ドビッシの「三つのノクターン」が特

**RSB**  
RUNDFUNK  
SINFONIEORCHESTER  
BERLIN

Liebe Konzertfreunde in Fujii

Es ist mir eine große Ehre,  
mit meinem Orchester, dem  
Rundfunk-Sinfonieorchester Berlin,  
am 1. November 1997 in Ihrer Stadt  
musizieren zu dürfen.  
Ich bin gewiß, Sie werden einen  
unvergesslichen Kunstgenuß mit der  
Musik von Johannes Brahms haben.

Ihr

*Rafael Frühbeck de Burgos*

Rundfunk-Orchester und -Chöre GmbH Berlin



親愛なる富士市のコンサート愛好者の皆様方へ！  
1997年11月1日に皆様方の都市にて私のオーケストラ——ベルリン放送交響楽団と演奏できますことは、誠に光栄です。皆様がヨハネス・ブラームスの音楽により忘れがたい芸術の素晴らしさを堪能していただけるであろうことを確信しております。

もあるスペイン人でブラームスの生誕百年後の一九三三年九月十五日ブルゴスに誕生しました。幼少時ヴァイオリンから音楽に入り、ビルバオとマドリッドのコンセルバトリアルにて、ヴァイオリン、ピアノ、作曲、音理を学びました。その後ミュンヘン国立音大にてクルト・アイヒホルン、G・E・レッシングに指揮を、ヒンデミットの直弟子ハラルド・ゲンツァーに作曲を習いました。ビルバオ交響楽団の首席を皮切りに、一九六二〜六八年はマドリッド・スペイン国立オーケス

トラの首席を務め、その後デュッセルドルフシンフォニーカー、モントリオール・シンフォニーオーケストラの首席、読売日響、ワシントン・シンフォニー・オーケストラの首席客演など、全世界ですべてに百以上のオーケストラで指揮をしています。またマドリッド、デュッセルドルフ、ワシントン、チューリッヒなど各地でのオペラ公演の他、百枚以上のレコード・CDの録音があります。この中でフィル・ハーモニア・オーケストラロンドンとの「カルミナブラーナ」や「カルメン」、そして世界で最初のファリア全オケ作品録音は高く評価されました。一九九四年にはナバラ大学哲学部より名誉博士号を授与されました。その他、オーストリアの芸術と文化に関する名誉賞をはじめ、今年二月二十四日には「ハチント・グエレロ賞」をスペイン女王より授与されました。

F・デ・ブルゴス氏とRSBのコンビによるスペイン物は常に聴衆とマスコミを沸かせてきました。一九九四年のファリア、トゥリーナ、九五年のクラウディオ・プリアエトの「イベリア狂想曲」初演は大成をおさめました。九六年はロレンツォ・バロモの新曲、「ギター協奏曲」、九七年にはラベルのバレエ曲、「ダフニスとクロエ」の全曲演奏で好評を得ました。ラベルはフランス国籍をもつものの、彼の母はスペイン・バスク地方出身で、感情、芸術内容の故郷はスペイン的と言えます。今年五日のアリシア・デ・ラローチャとのスペイン五都市での共演ツアーは、このスペインレパートリーにより大成功でした。

（編者） Rundfunk Sinfonieorchester Berlin  
Stefan Georgi  
Dr. Rafael Frühbeck de Burgos  
レポート 内藤 間喜

新しいCD（「感傷的なワルツ」）の録音を終えてホッと一息。この秋は、ラファエル・フリュベック・デ・ブルゴスさん指揮のベルリン放送交響楽団との協演が続きます。曲は私の大好きなブラームスの協奏曲。11月1日富士ロゼシアターで皆様とお目にかかれることをとても楽しみにしております。

前橋 汀子

※ RSB、F・デ・ブルゴス、前橋汀子のコンビは10月12日ベルリンコンサートハウスでブラームスプログラムを演奏します。



© 篠山 紀信

一九九七年十一月一日、ロゼシアターの大ホールはブラームス一色に染まります。F・デ・ブルゴス氏がいう「ブラームスの音楽と共に芸術の喜びを堪能できるコンサートに」、さらには前橋汀子さんが大好きというブラームスの協奏曲。

ロゼ誕生四年目の記念日は文字どおり最高の音楽が奏でられることとなります。





左から瀬尾麗さん、大西雄二さん、加藤洋之さん、インゴ・デ・ハースさん、岩本忠生さん、山田百子さん

# E · N · S · E · M · B · L · E

アンサンブルの魅力

## アットホームな ダルムシュタット・アンサンブル

今年はシューベルト生誕200年。ロゼシアターではこれを記念して8月1日、ダルムシュタット・アンサンブルによるオールシューベルトプログラムを開催しました。ダルムシュタット・アンサンブルは、室内楽の本場ドイツで活躍されている邦人音楽家を中心にしたユニットです。今回メンバーの方々にコンサート直前の時間をいただき、海外で活動が続ける皆さんならではの音楽観、またアンサンブルの魅力について、和やかな雰囲気の中お話を伺いました。



### 日本とヨーロッパの音楽事情

**岩本** ● 僕なんかが思うのは、ヨーロッパの方が日本に比べて音楽というものがとても身近な気がします。音楽を聴くという楽しみももちろんあるけれど、それ以上に演奏する楽しみ、歌う楽しみという音楽に参加する部分での楽しみ方がずいぶん違うように思います。日本の場合クラシックというと、お勉強が大切という部分があるようですが、日本では一生懸命音楽の勉強をしますが、ヨーロッパに行きますと、すべて楽しむということになるんですよ。音楽を「play」することはドイツ語で「spiel」（シュピール）、子供が公園で遊ぶのと同じことなんです。大西 ● そうですね。僕がまずブレイヤーとして感じるのは、音の出し方が違うという点です。音楽は技術的な部分があるから、そういうところは当然学ばなければいけないけれど、一番大切なのはやはり楽しむということなんです。それが日本に比べると、いかに楽譜に正確に弾けるかというふうになってしまう。だからどんな音色を出すのかということをおまわり考えないんです。



岩本忠生さん (チェロ)



大西雄二さん (コントラバス)

**岩本** ● 本当に運なんです。そんな昔に作られたものはいたいがイタリアの楽器なんです。ここにある楽器は全部そうなんです。数も決まっていますし、それがもう世界中に散らばっているんです。ストラディヴァリウスにしてもそうですけど、当然偽物も出てきます。本物に出会えるってことはお金を積んでもそうそうあるわけじゃありませんからね。ですから、これを壊してしまったり、三百年の文化遺産を私が壊してしまつたことになりません。

**瀬尾** ● もう自分だけのものというわけにはいかないんです。自分が使つてそれをまた、次の世代に渡さなければいけないんです。

### ダルムシュタットの音とは

**大西** ● そうですね。やはりアンサンブルだから縦の線が合わなければいけないとか、音程が合わなければいけないとかはもちろんなんですけど、ダルムシュタットの場合は岩本さんを中心にした音の揺れついでがあるんですよ。息づかいっていいのかな？それが自然に五人なら五人の中で感じあつてやれるって

ドイツにいて学んだのが、やっぱり音楽は楽しまなければ、損だなど。楽しむことによって、この空間にどれだけ自分での音を出すかというのが大きき喜びになるんです。あとは、個性の集まりがアンサンブルだと思えます。理想はねドイツなんかじゃみんな音楽で言いたいこと言ってます。それで言いたいこと言つて、それがオーケストラだったりカルテットだったりその中で個性を主張しあつて、そしてだんだん収めていって一つの大きな物をつくっていくんです。それが日本の場合だと最初からまわりの音に気がしながら演奏しているんです。

### 地方公演での聴衆の反応

**岩本** ● 日本の場合、地方に行けば行くほどドイツに近い感じがします。都会の聴衆はすぐくまじめに聴いてくれますが、地方では好きなように聴いてくれます。東京の聴衆が特殊なんですよ。弾く側から言いますとね、なかなかこう乗つてくれないですよ。だからどうかすると僕らだけで楽しんでやっちゃうね。

**瀬尾** ● 冷やかな耳で聴かれちゃったりして……。どっかで失敗するんじゃないだろうかとかね、そういう批判的な目を感じたりします。

**岩本** ● だからステージに出てつて最初の音を出した時にすぐにとけ込めることが多いのは東京以外の街ですね。そしてそれは僕らが日本に毎年帰るようになって、十六年十七年になります、その間いつも感じています。

ドイツでも多少、大都市と地方とで聴衆の雰囲気違いますね。でもベルリン

うそれが特徴といえます。

**岩本** ● 大西さんはいつもそう言ってくれるんだけど、実際そういう人達が自然に集まつたつていう感じなんです。ハース ● たまたま今日は日本人が五人と自分だけドイツ人ですね。私はまだ日本語もあまり出来ないけれど、音楽は言葉に関係無くそれ自体がコミュニケーションの手段なんです。国境を越えて、人類的持つ文化として私達がまったく同じように共有できる、音楽とはそういう言葉以上の何かです。

### ライブは真剣勝負

**岩本** ● こんな素晴らしいホールが揃つていて、素晴らしいお客様がいらつしゃつて、そうなら後は演奏家の責任です。(笑)

いつも来てくださるお客様で「一昨年のあの曲はよかった」なんていわれちゃつたりして。(苦笑)こちらとしては毎回「今年は今良かった」つて言われる方がいいですね。本番直前まで笑つていられるんですけど、ステージに出ていくとやっぱりね。ライブは真剣勝負ですから。**大西** ● でもそれが一番楽しい表情をする瞬間でもあるんですよ。

**岩本** ● 私達のコンサートはただ聴衆に音楽を聴いていただくことではなく、来ていただいたお客様がいかにかすばらしい時間、すばらしい空間を私達といっしょに共有しあえるかなんですよ。今回のステージもきつと満足いただける演奏会になると思います。



インゴ・デ・ハースさん (ヴァイオリン)



瀬尾麗さん (ヴィオラ)



取材後の熱の込められた演奏、聴衆との一体感を共有

演奏会後、ロゼシアターに一通のファックスが入りました。岩本さん、瀬尾さんはじめダルムシュタット・アンサンブルの皆さんからのメッセージでした。「今回のツアーでロゼのホールの音響は日本で演奏した全ての会場で一番良かった。そしてオーガニゼーションも一番良く満足していた……。」と。









ブラームス没後100年の年にあたり  
オーストリアで発行された記念切手

「ブラームスの四つの交響曲」  
ロゼシアターと共同で日独高校生のクラシック音楽に関するアンケート調査を行なった。高校生の中でブラームスの人気は今一つだったが、昨年の音友ベストテン調査では「好きな交響曲」「好きなクラシック曲」ともブラームスの交響曲第一番が一位だった。投稿に投稿を重ねてきたこの曲は完全すぎているという声も聞く。頑な努力の結果が日本人の心を捉えるのかもしれない。四つの交響曲で「第一番」と他の三曲には決定的な違いがある。「第一番」には作品形成上個人的な音楽的格闘の跡が見られるのに対し他の三曲は各々の発展過程完了を示す音楽になっている。友人ビルロートは「頑さ」と「憧れ」で彼の曲を表現した。四曲の発展過程で「第一番」の「頑さ」から両方に無縁な「第二番」、芸術的頂点を極めた「第三番」、「憧れ」から「稀念」に変化する「第四番」と、彼の人生が四

「第一番」の「頑さ」から両方に無縁な「第二番」、芸術的頂点を極めた「第三番」、「憧れ」から「稀念」に変化する「第四番」と、彼の人生が四

「第一番」の「頑さ」から両方に無縁な「第二番」、芸術的頂点を極めた「第三番」、「憧れ」から「稀念」に変化する「第四番」と、彼の人生が四

交響曲第一番の成り立ち

ペリリーが浦賀に来航した一八五三年、二十歳のブラームスはシューマンを訪ねる。「ピアノソナタ五番」を「カムフラージュされた交響曲」と評されるが才能を認められる。シューマンは同年十月二十八日付「音楽新報」に論説「新しい道」を発表、新時代の巨匠とブラームスを紹介する。公の賞賛はブラームスをさらに慎重にさせる。一八五四年三月「第九」を聴き形式を打破する巨人ベートーヴェンの力を再確認、交響曲への内的要求を高める。四月には「二台のピアノのソナタ」を交響曲にする試みをする。一八五五年シューマンの最も優れたオケ作品と言われる「マンフレッド序曲」に感激、「第一番」の一部を構想する。一八五七年デトモルト宮廷楽団の指揮によりオケの持つ可能性や限界を実地体験する機会を得る。二曲のセレナーデをオケ用に作



交響曲第一番が初演された1876年の  
ウィーンにおけるブラームス  
(フリッツ・ルックハルト撮影)

「第一番」の「頑さ」から両方に無縁な「第二番」、芸術的頂点を極めた「第三番」、「憧れ」から「稀念」に変化する「第四番」と、彼の人生が四



ブラームス自身が自作品の中で一番気に入っていた交響曲第四番初演のちらしプログラム。1885年10月25日(日)16時30分、マイニンゲン公爵宮廷劇場にて開演。ブラームス本人の指揮。

「第一番」の「頑さ」から両方に無縁な「第二番」、芸術的頂点を極めた「第三番」、「憧れ」から「稀念」に変化する「第四番」と、彼の人生が四

ベートーヴェンとブラームス

指揮者ビューローは本曲をベートーヴェン以降最初の重要作品という意味で「交響曲第十番」と呼んだ。「ハ短調」の調性、

「第一番」の「頑さ」から両方に無縁な「第二番」、芸術的頂点を極めた「第三番」、「憧れ」から「稀念」に変化する「第四番」と、彼の人生が四

「第一番」の「頑さ」から両方に無縁な「第二番」、芸術的頂点を極めた「第三番」、「憧れ」から「稀念」に変化する「第四番」と、彼の人生が四

「第一番」の「頑さ」から両方に無縁な「第二番」、芸術的頂点を極めた「第三番」、「憧れ」から「稀念」に変化する「第四番」と、彼の人生が四

「第一番」の「頑さ」から両方に無縁な「第二番」、芸術的頂点を極めた「第三番」、「憧れ」から「稀念」に変化する「第四番」と、彼の人生が四

「第一番」の「頑さ」から両方に無縁な「第二番」、芸術的頂点を極めた「第三番」、「憧れ」から「稀念」に変化する「第四番」と、彼の人生が四

	富士市	ケルン市
対象者	97人	69人
楽器を演奏する	62人	52人
クラシックが好き	56人	52人
好きな作曲家	1位 ヨハン・セバスティアン・バッハ 2位 フランツ・リスト 3位 フリッツ・リヒター 13位 ブラームス	1位 モーツァルト 2位 ベートーヴェン 3位 ショパン 4位 ブラームス
好きな曲	別れの曲(ショパン) 白鳥の湖(チャイコフスキー) カラン(ホルンベルグ) ボレロ(ラベル)	魔術(モーツァルト) 四季(ツェツェル) 交響曲第3番(シューマン) 交響曲第9番(ベートーヴェン)
好きな理由	聴いていて気持ちがよい 美しい曲だから 響きやすい 思い出す曲 名曲だと思う よく聴く曲だから	美しい音楽だから 美しい曲だから 響きやすい 思い出す曲 名曲だと思う よく聴く曲だから

富士市の高校生(15~18才)とケルン市のギムナジウム生徒(9~20才)の聴くクラシック音楽比較

ブラームスと交響曲第一番

内藤開喜



▲小野 肇  
(富士市文化振興財団  
常務理事)

「第一番」の「頑さ」から両方に無縁な「第二番」、芸術的頂点を極めた「第三番」、「憧れ」から「稀念」に変化する「第四番」と、彼の人生が四

母の小袖を軸に交錯する女の愛と男の義

「第一番」の「頑さ」から両方に無縁な「第二番」、芸術的頂点を極めた「第三番」、「憧れ」から「稀念」に変化する「第四番」と、彼の人生が四

「第一番」の「頑さ」から両方に無縁な「第二番」、芸術的頂点を極めた「第三番」、「憧れ」から「稀念」に変化する「第四番」と、彼の人生が四

「第一番」の「頑さ」から両方に無縁な「第二番」、芸術的頂点を極めた「第三番」、「憧れ」から「稀念」に変化する「第四番」と、彼の人生が四

多くの市民の皆さんの情熱で舞台づくりを

「第一番」の「頑さ」から両方に無縁な「第二番」、芸術的頂点を極めた「第三番」、「憧れ」から「稀念」に変化する「第四番」と、彼の人生が四



「第一番」の「頑さ」から両方に無縁な「第二番」、芸術的頂点を極めた「第三番」、「憧れ」から「稀念」に変化する「第四番」と、彼の人生が四

「第一番」の「頑さ」から両方に無縁な「第二番」、芸術的頂点を極めた「第三番」、「憧れ」から「稀念」に変化する「第四番」と、彼の人生が四

演出家紹介

「第一番」の「頑さ」から両方に無縁な「第二番」、芸術的頂点を極めた「第三番」、「憧れ」から「稀念」に変化する「第四番」と、彼の人生が四

「第一番」の「頑さ」から両方に無縁な「第二番」、芸術的頂点を極めた「第三番」、「憧れ」から「稀念」に変化する「第四番」と、彼の人生が四

「第一番」の「頑さ」から両方に無縁な「第二番」、芸術的頂点を極めた「第三番」、「憧れ」から「稀念」に変化する「第四番」と、彼の人生が四

三浦克也さん

「第一番」の「頑さ」から両方に無縁な「第二番」、芸術的頂点を極めた「第三番」、「憧れ」から「稀念」に変化する「第四番」と、彼の人生が四



ROSE THEATRE・EVENT CHECK LIST

1997年11月・12月・1998年1月の催し物のご案内  
財団自主事業をはじめ、一般賛助事業を含めたスケジュールです。

INFORMATION

1997 11 NOVEMBER	
日	ホール
1	大
1	中
1	小
2	大
2	中
2	小
3	大
3	中
3	小
5	水
6	木
6	小
8	土
8	中
9	日
9	中
9	小
10	月
10	大
10	小
13	木
13	中
14	金
14	小
15	土
15	中
15	小
16	日
16	大
16	中
16	小
18	火
18	中
20	木
20	大
20	小
21	金
21	小
22	土
22	中
22	小
23	日
23	大
23	中
23	小
24	月
24	中
24	小
26	水
26	中
26	小
27	木
27	大
28	金
28	中
28	小
29	土
29	小
30	日
30	中
30	小

1997 12 DECEMBER	
日	ホール
4	木
4	大
5	金
5	小
6	土
6	大
6	小
7	日
7	中
7	小
13	土
13	中
13	小
14	日
14	中
14	小
16	火
16	大
17	水
17	中
17	小
20	土
20	中
20	小
21	日
21	中
21	小
23	火
23	大
23	小
24	水
24	小
25	木
25	小

1998 1 JANUARY	
日	ホール
10	土
10	中
10	大
11	日
11	中
11	小
15	木
15	大
15	小
16	金
16	中
17	土
17	中
17	小
18	日
18	中
18	小
20	火
20	大
20	小
24	土
24	大
24	小
25	日
25	中
25	小
27	火
27	大
27	中
28	水
28	中
28	小
31	土
31	大
31	小

展示室のご案内

展示期間	展示室	備 考
11/6~8	特別	刺しゅう展
11/9	一般 特別	和光会50周年記念大会 茶席
11/13~16	特別	第1回爽気会展
11/21~24	一般 特別	第2回颯風会書展
11/26~27	一般 特別	旭化成工業中研群総合研究発表会
11/29~30	一般	第4回エンジョーDIY大賞入選発表展示会
12/2~5	特別	富士ガラスアカデミー作品展
12/6~9	一般 特別	第2回由静源画展
12/13~23	一般 特別	静岡県芸術祭美術部門優秀作品展
1/10~11	一般 特別	第50回静岡県書道連盟富士地区書きぞめ展
1/12~14	一般 特別	第2回富士市老人クラブ文化祭
1/15	一般	水彩画展
1/17~20	一般 特別	席書・技術家庭科作品展
1/23~26	一般 特別	学校給食展
1/31~2/1	一般 特別	小中学校図工美術展

※一般賛助事業については、平成9年9月上旬までの受付分です。  
各ホールでのイベントや展示などの日程は変更になる場合があります。  
□はロゼシアター主催事業 ★印は、ロゼ・チケットセンター窓口でもチケットを取扱う予定のものです。

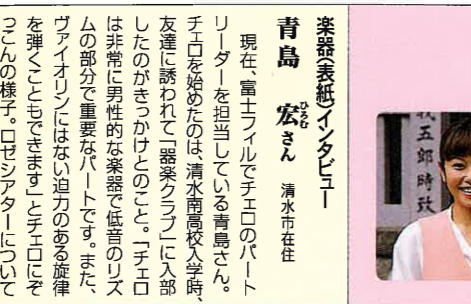
ここが見どころ イベントガイド



～プラムス没後100年記念プログラム～  
**ベルリン放送交響楽団**  
●11月1日(土) 大ホール  
●指揮/ラファエル・ブリューベック・デ・ブルゴス  
●ヴァイオリン/前橋汀子  
●開場/18:30 開演/19:00  
●入場料/S席8000円 A席7000円 B席5000円  
学生2500円(全席指定)  
Program/大学祝典序曲Op.80  
ヴァイオリン協奏曲二長調Op.77  
交響曲第1番八短調Op.68



楽器表紙インタビュー  
青島 宏さん 清水市在住  
現在、富士フィルでエロのパートリーダーを担当している青島さん。エロを始めたのは清水南高等学校時。友達に誘われて「器楽クラブ」に入部したのがきっかけのこと。エロは非常に男性的な楽器で低音のリズムの部分で重要なパートです。また、ヴァイオリンにはない迫力のある旋律を弾くこともできます。エロは「エロ」そのものの様子、ロゼシアターについて「とてもよく響くホールだと思っています。それにスタジオで演奏していて、もきれいで気持ちがいい」となかなか好印象のようですね。  
今後はオーケストラにももちろん小編成のアンサンブルにも挑戦したい、と抱負を語ってくれました。



「レポート初体験」  
先日、ケーブルテレビ番組「ロゼシアターガイド」の撮影で、前橋汀子へ行って来ました。私は「レポート」という役目だったので、いろいろカメラの前には緊張を覚えたけれど、他のスタッフに大変迷惑をかけてしまいました。原稿を読むだけのことがこんなに難しいとは思っていませんでした。(F子)

チケットのお申し込み・お問い合わせは  
**ロゼ・チケットセンター**  
TEL.0545-60-2500 受付時間 9:00~19:00

■すみや 富士本町店 ☎(0545)63-2233	■チケットセンター ☎(0559)61-2405	■ユニサービスカウンター 吉原店 ☎(0545)51-9027(代)
■富士中央店 ☎(0545)60-4567	■カワセ書店 鷹岡店 ☎(0545)71-9592	■富士宮大宮店 ☎(0544)24-0255(代)
■富士市民センター ☎(0545)61-6262	■富士宮宮原店 ☎(0544)24-7160	■三島g(アイシー) ☎(0545)51-5227
■ラホール富士 ☎(0545)53-4300	■タンザン楽器富士支店 ☎(0545)52-1586	■三島g(アイシー) ☎(0559)73-3003



EVENT REPORT

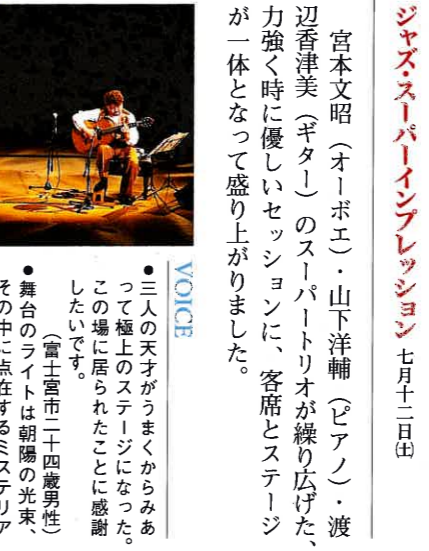
宮本文昭(オーボエ)・山下洋輔(ピアノ)・渡辺香津美(ギター)のスーパートリオが繰り広げた、力強く時に優しいセッションに、客席とステージが一体となって盛り上がりました。

三人の天才がうまくからみあって、この場に居られたことに感謝したいです。  
(富士宮市二十四歳男性)

●舞台のライトは朝陽の光東、その中に点在するミステリアスな時空、香津美のアカousticティックギター、宮本のオーボエの繊細な音色に洋輔の力強くジャズ化されたサウンドが絶妙なスパイスになっていた。  
(沼津市四十歳女性)

●とても胸の熱くなるひとときを過ごすことができた。トリオのアルバムなど作ってほしいと思います。  
(静岡市三十歳女性)

●初めてジャズを聴いて感動しました。三人が全身を使って演奏していたのがとっても印象的でした。  
(富士市三十歳女性)



ロゼでは三回目となる「百物語」。毎回観に来ているといふ常連さんもいて、三回ともチケットは完売という人気公演。夏休み最後の夜、ヒヤッとしたい思いで帰られたお客様も多かったのではないのでしょうか。

●怖かったです。言葉がこれほどの力を持つとは思っていませんでした。言葉という言葉は本当にあるんですね。  
(富士市十六歳女性)

●今回で三回目。いつも語り口り上手さで不思議な世界へ入りこんでいます。第四夜以降もなるべく早く聞きたいと思っています。  
(富士市四十九歳男性)

●毎回楽しみにしています。はつきりした言葉、良く通る声、朗読の勉強を少ししています。そのため、いつの日か自分の老後に吹き込むのが夢です。  
(富士市五十歳代女性)

●「百物語」というのも、もっとおどろおどろしいものを想像してあげたい、面白かった。  
(清水市二十八歳女性)



公演レポート

ジャズ・スーパーインプレッション 七月十二日(日)

TICKET PRESENT

チケットプレゼント当選者発表



前号でお知らせしました「ロゼ」創刊二十周年記念チケットプレゼントに多数の応募をいただきました。誠にありがとうございます。厳正なる抽選の結果、以下の方が当選されましたので発表いたします。

ロシア国立ポリシヨイバレエ団  
渡辺 徳子さん(富士市大淵)  
和田 乃里恵さん(富士市厚原)  
後藤 徳子さん(富士市境)  
鈴木 和枝さん(富士市比奈)  
門西 陽子さん(富士宮市万野原新田)

ベルリン放送交響楽団  
横山 勇さん(富士市今泉)  
池田 将章さん(富士市水戸島本町)  
市川 奈都子さん(富士郡芝川町)  
柏木 礼子さん(富士宮市田中町)  
露木 歌子さん(沼津市庄栄町)

おめでとうございました

～インターネットホームページ開設のお知らせ～

9月17日から、ロゼシアターのホームページを開設しました。ロゼシアターで行われるイベント情報や館内施設の紹介など盛りだくさんの内容です。また、「トピック」のコーナーでは、公演の最新情報や創作ミュージカルの制作過程なども掲載していきます。みなさんとロゼを結ぶホットラインとして今後このホームページを育てていきたいと思っています。みなさんからのご意見・ご意見もお待ちしております。

ロゼシアターホームページのアドレスは  
http://www.city.fuji.shizuoka.jp/~rose/  
e-mail rose@city.fuji.shizuoka.jp

お問い合わせ  
ロゼシアター広報係  
TEL.0545-60-2513